

第 7 回富山県地域交通戦略会議の開催結果について

1. 日時 令和 6 年 2 月 20 日（火） 10:00 ～

2. 出席委員 別添のとおり

3. 概要

第 7 回富山県地域交通戦略会議において、地域公共交通活性化・再生法に基づく計画である「富山県地域交通戦略」（案）について意見交換を行い、了承された

4. 意見交換（主なもの）

- ・戦略を具体的に進めていくための第一歩が踏み出された。今後もしっかりと投資を進めることが重要
- ・来年度予算案により、戦略で位置付けられた事業が動いていくことを実感した
- ・これから大切になっていくのが参画。特に最大の利用者である高校生や大学生に応援団になってもらい、沿線市民や企業にも広げていってほしい
- ・県だけでなく委員の方々も含め、自治体と協力しながら市民参画を盛り上げていくのがよい
- ・大人に参画を促すのは結構難しいが、子どもを持つ親御さんであれば子どもたちを通じて接点やコミュニケーションがとれる
- ・参画したくなる工夫をどう作っていくのがポイント。地域のコミュニティで口コミで広がっていくことが大事であり、住民の方と対話する機会を設定するのも有効
- ・パブリックコメントのように、定期的に県民の意見を収集して今後の取組みに活かしていくべき
- ・MaaSアプリを活用して、公共交通の利用促進のみならず、まちの賑わい、経済の活性化など、県民の参画の観点からも貢献したい
- ・駅を拠点としたまちづくりに投資、参画を促すべきで、市町村と連携して推進してほしい
- ・北陸新幹線の敦賀延伸により多くの観光客の来県が見込まれ、地域の魅力を発信し、公共交通の活性化にもつなげていきたい
- ・人手不足、燃料価格高騰などにより、公共交通を取り巻く環境は厳しさを増しており、沿線自治体には、自分事としてサービスの確保・向上に向けた議論を行ってほしい
- ・担い手の確保・育成については、喫緊の課題。担い手を確保できなければ目標も達成できない
- ・今後、PDCAサイクルをまわすにあたっては、自治体、交通事業者等と連携を密にして取り組むべき

第7回 富山県地域交通戦略会議 出席委員（敬称略）

所属・役職	氏名	備考
東洋大学 名誉教授	石井 晴夫	会長
富山国際大学 名誉教授	長尾 治明	
関西大学経済学部 教授	宇都宮 浄人	
富山大学都市デザイン学部 教授	本田 豊	
富山県商工会議所連合会 会長	庵 栄伸	
トヨタモビリティ富山(株) 代表取締役社長	品川 祐一郎	
(株)博報堂第二MDコンサルティング局 局長代理	畠山 洋平	
モビリティジャーナリスト	楠田 悦子	
(公社)とやま観光推進機構 副会長・専務理事	川嶋 芳明	
富山県交通運輸産業労働組合協議会 議長	石橋 剛	
富山県高等学校PTA連合会	松山 朋朗	
富山県自治会連合会 会長	北岡 勝	
西日本旅客鉄道(株)金沢支社 地域共生室企画課 交通企画室長	鹿野 剛史	
あいの風とやま鉄道(株) 代表取締役社長	日吉 敏幸	
富山地方鉄道(株) 専務取締役	新庄 一洋	
万葉線(株) 代表取締役専務	楠 達男	
加越能バス(株) 取締役自動車部長	山崎 勝	
(公社)富山県バス協会 専務理事	小竹 典吉	
富山県タクシー協会 専務理事	清澤 新一	
国土交通省 北陸信越運輸局交通政策部 部次長	白砂 千佳	
富山県警察本部交通部交通規制課 課長	大島 和久	
富山市 副市長	美濃部 雄人	代理： 深山活力都市創造部長
高岡市 副市長	河村 幹治	代理： 表野総合交通課長
上市町 副町長	小竹 敏弘	
富山県 副知事	蔵堀 祐一	